

平成29年度豆類振興事業助成金(試験研究)の成果概要の要約

⑧課題:能登大納言小豆の開花期の生育環境改善技術の開発(29~31年度)

代表者:石川県農林総合研究センター農業試験場 主任研究員 小浦場 卓

目的

能登大納言小豆の土壌過湿などの環境要因と落莢、子実肥大不足の関係を解明して、収量の安定化と大粒割合増加のための技術開発を行う。

成果

①能登大納言小豆の落莢、肥大不足の要因解明

- ・開花期の過湿程度と時期が小豆の収量および生育に及ぼす影響を調査したが、判然としなかった。
- ・開花期の日照不足の時期が小豆の生育に及ぼす影響を調査したところ、生育への影響は認められなかったが、収量は減少することがわかった。
- ・根粒着生と収量構成要素の相関分析を行ったところ、根粒数と百粒重で正の相関があった。

②異常気象に対応した能登大納言小豆の収量安定化と大粒割合増加のための技術開発

- ・リン酸肥料の施用による収量や生育および根粒着生への効果は判然としなかった。

収量構成要素および根粒着生状況

試験区	子実重 (kg/10a)	莢数 (莢/m ²)	百粒重 (g/100粒)	大粒率 (%)	根粒数 (個/株)	根粒重 (g/株)
リン酸増肥区(30)	160.1	156.3	26.3	90.7	126	0.097
リン酸増肥区(15)	142.0	144.2	27.1	91.1	103	0.097
慣行区	157.2	159.6	27.0	90.5	110	0.100
	ns	ns	ns	-	ns	ns